

3.11からコロナ危機の今 ローカルメディアの展開と将来を考察

● 著者 ●

武蔵大学社会学部メディア社会学科教授
松本 恭幸 (まつもと やすゆき)
 メディアプロジェクト仙台代表
佐藤 和文 (さとう かずふみ)
 NPO法人市民がつくるTVF 副代表
佐藤 博昭 (さとう ひろあき)

- 第1章 立ちすくむ地方紙—未来を引き寄せるために
- 第2章 CATVはどこへ向かうのか
—業界再編が進む中で地域密着志向の
独立系CATV局の目指すもの
- 第3章 コミュニティFMの変遷①
—災害時の役割をめぐって
- 第4章 コミュニティFMの変遷②
—地域づくりの役割をめぐって
- 第5章 新たなウェブメディアの潮流
—地域のウェブメディアはこれからどう発展していくのか
- 第6章 地域映像祭の動向 —その課題と展望
- 第7章 自治体広報の新たな展開
—防災、シティプロモーションに向けて
- 第8章 市民メディアの現場は今
—SNS全盛期における市民メディアの活動の担い手の現状
- 終章 防災と関係人口拡大に向けた
ローカルメディアの課題のまとめ

■■■■■ はじめに (抜粋) ■■■■■

平成の30年間を通してローカルメディアはマスメディア以上に大きく変化し、そして東日本大震災をきっかけに、一時、被災地で必要とする人に必要な情報を伝える防災面での役割がクローズアップされたが、震災から数年経ち、今度は人口減少による地方の衰退が進む中で、ローカルメディアの苦境を伝えるニュースが各地で聞かれるようになった。……

この本では3.11でクローズアップされたローカルメディアが、平成が終わって令和の時代に入り、今日、コロナ危機に直面する日本社会でどのように変化し、またこれからどのような方向に向かおうとしているのか見ていきたい。

令和の ローカル メディア

防災・関係人口拡大に
向けた課題

松本 恭幸
佐藤 和文 著
佐藤 博昭



全国各地のローカルメディアは、
3.11からコロナ危機までの間、
防災・関係人口拡大にどう取り組み、
これからどんな方向に向かおうとするのか
その可能性を探る!

あけび書房

画期的
労作!

定価 2200円
(本体 2000円+税10%)

A5判・200頁・2021年8月発売
ISBN978-4-87154-192-3

あけび書房 TEL:03-5888-4142
FAX:03-5888-4448

〒167-0054 東京都杉並区松庵3-39-13-103
https://akebishobo.com/ Mail:info@akebishobo.com



ご記入の上、最寄りの書店、あるいは著者かあけび書房へご注文下さい。

注文書	書店印・取扱先	令和のローカルメディア () 冊 注文		
	その他・備考			
	氏名・団体名	ご担当者 氏名		
	送り先 〒()-()	電話番号 ()		

取次帖合：日販・トーハン・楽天ブックスネットワーク・中央社・大学図書
日教販・全官報・新日本図書・鎌谷書店・JRC

発行：あけび書房 TEL.03-5888-4142 FAX.03-5888-4448